

或人云、大小萬鳥、廣頭太背美羽、大形にして太足、潔健なるものは雄なり、淫聲小頭細足細口穢毛、小形にして柔弱なるものは雌なり、禽獸は雄壯大形にして、雌牝小形なり、虫魚はめん大にしてをん小なり、又曰、雌雄大小なく羽毛のいろ同して見分難きものは、秤を以て其輕重をはかり見るべし、雌は輕く雄は重し、

〔倭名類聚抄羽族十八體〕孳尾 尙書云、鳥獸孳尾、孔安國注云、乳化曰孳、疾置反、與字同音、今按、謂鳥產也、交接曰尾、鳥交俗

云二部流比、

〔箋注倭名類聚抄鳥體七〕按孳謂乳化、則爲鳥產非是、

〔和漢三才圖會鳥之四十四〕巢略中

凡鳥乳化曰孳、鳥產也

〔倭名類聚抄羽族十八〕卵 陸詞切韻云、卵音爛、和名加比古、鳥胎也、

〔箋注倭名類聚抄鳥七〕按加比古、設子之義、謂卵有殼也、設訓加比、見龜具體、

〔段注說文解字卵十三下〕卵、凡物無乳者卵生、九部曰、人及鳥生、子曰、乳、獸曰、產、此云、凡物無乳者、卵生、故曰、凡物無乳者、象形、分合之形、虛管、切十四部、糸部、縮、下云、讀若雞卵、蓋古卵、讀如管也、其卵生、○中略

〔諧聲品字箋轉聲四十九〕卵羽族之蛋曰卵、凡卵中黃爲陰、白爲陽、魂魄相待也、

〔類聚名義抄雜十〕卵今正廬短反、鳥殼、

〔日本釋名鳥中〕卵、鳥の玉子也、かへる子也、かへるとは玉子の變りて、ひよことなるを云、

〔和漢三才圖會鳥之四十四〕卵音變 卵和名加比古 孚音數 孵同訓、加倍留、 鰾音段、訓須毛里、

卵鳥胎也、凡物無乳者卵生、凡鳥之孚、卵皆如期、故曰孚、孚者、信也、鳥抱恒以爪反覆其卵、故从爪、卵不孵者

曰孵、モスリ呂氏春秋云、雞卵多鰾、楊子曰、雌之不才其卵鰾矣、

按白花蛇鱸魚無乳而胎生焉、以爲異、鸛鵬角鷹鳩之屬卵二、鷹鳶鳥鵲告天子及小鳥卵四、雞雉鴨